

# 『東日本大震災被災地 エネルギー意識』

## — 調査報告 —

## 【調査概要】

対象 : 東日本大震災で被害にあわれた岩手県、宮城県、  
福島県の20歳以上の1,000人(男女各50%)

目的 : 大震災を契機としてエネルギーや暖房・給湯器に  
関する意識の変化を調査

期間 : 6月18日(土)~23日(木)の5日間

その他 :

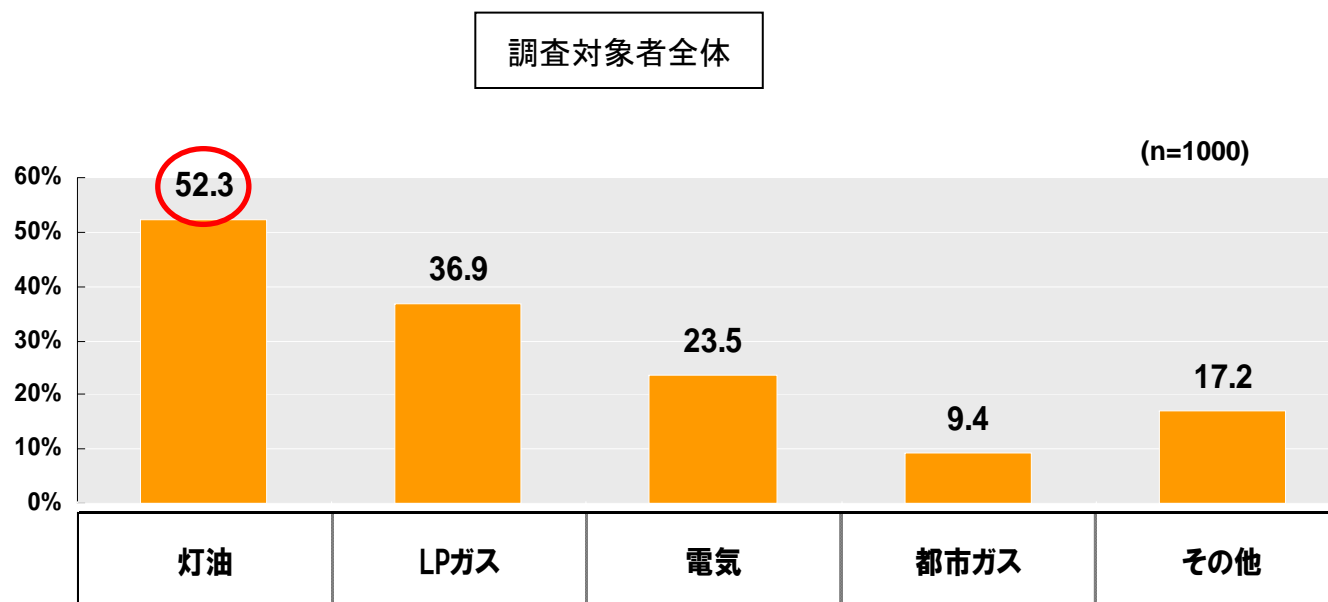
- (1) インターネットによるアンケート調査の形式
- (2) 地区別構成は、岩手:27%、宮城:53%、福島:20%
- (3) 対象1,000名の年齢構成内訳  
20才台:21%,30才台:25%,40才台:27%,50才台:27%

# 1.震災直後に使用できたエネルギー

## 〔灯油〕 52%

灯油は調査対象者全体の52%の方が震災直後から使うことができた。

灯油は災害時に最も使用できたエネルギーである！

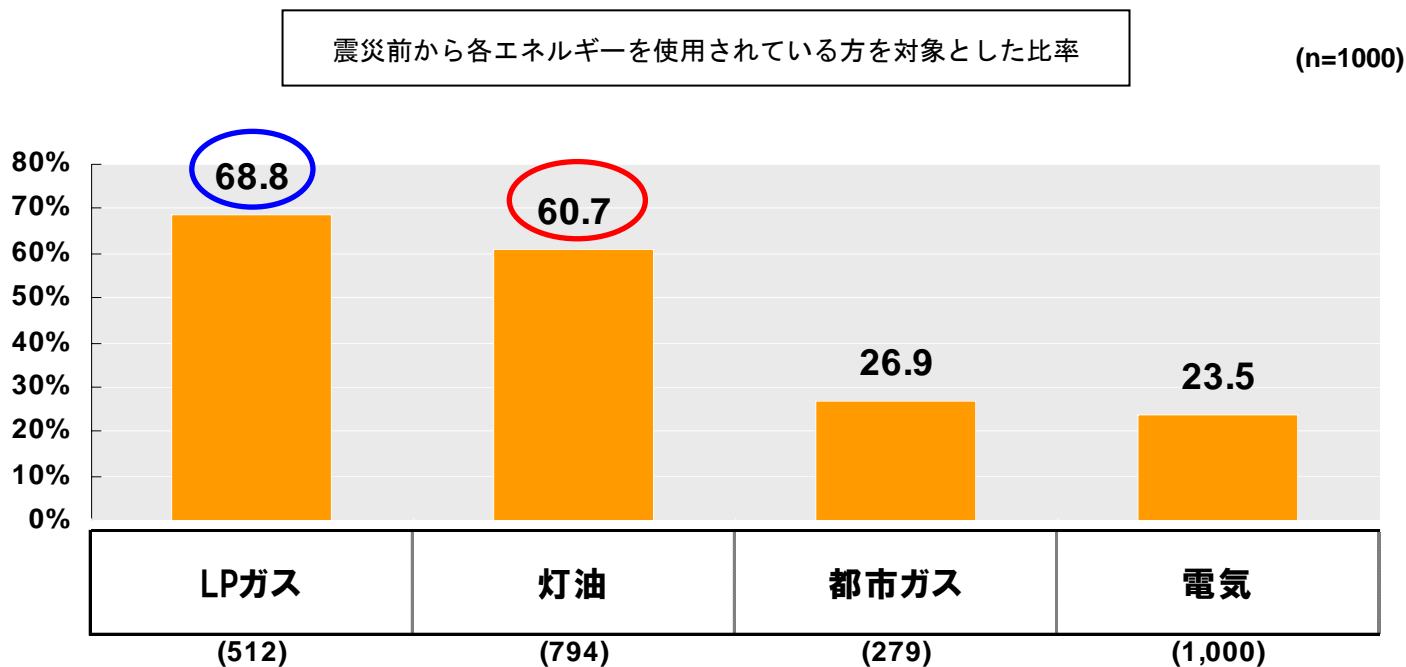


## 2.震災前から使用していた各エネルギーの震災直後の使用可能率

〔LPガス〕 69%、 〔灯油〕 61%

※対象は震災以前から各エネルギーを使用されている方

『供給型』ではなく『分散型』エネルギーの災害時の強みが浮き彫りに！



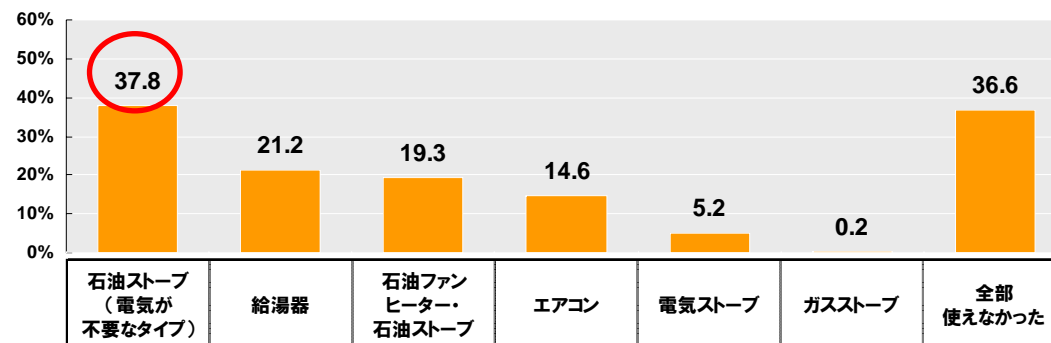
### 3.震災直後に使用できた暖房機・給湯器

- ・ 石油ストーブ(電気不要)が使用可能率38%でトップ

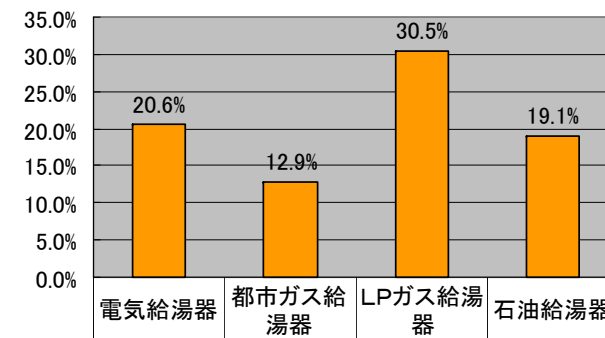
- ・ なお給湯器だけをエネルギー別に見ると、LPガス給湯器の使用可能率が最も高かった。電気・灯油がほぼ同率、都市ガスはインフラ復旧遅延のため使用可能率が低くなる結果に。

インフラに頼らないエネルギーの強みが明らかに！

暖房機・給湯器の震災直後使用可能率



給湯器(熱源別)震災直後使用可能率



## 4.震災後に使用できたものの役立ち度

- ◆ 石油ストーブ(電気不要)が、「非常に役立った」92%で断トツ。
- ◆ 停電の関係でエアコンは使えない期間の不満があった。

	n=	非常に 役立った	やや 役立った	どちらとも いえない	あまり 役立たなかった	まったく 役立たなかった	役立った TOP2
給湯器	(212)	60.8			17.0	9.4 2.4 10.4	77.8
エアコン	(146)	42.5		15.1	26.7	3.4 12.3	57.5
石油ファンヒーター 石油ストーブ	(193)	58.5			16.6	14.0 1.0 9.8	75.1
石油ストーブ (電気が不要なタイプ)	(378)	91.5				1.3 5.8 0.8 0.5	97.4
電気ストーブ	(52)	55.8		13.5	15.4	5.8 9.6	69.2
ガスストーブ	(2)	100.0					100.0

(%)【基数：震災直後に使用可】

## 5.震災後の暖房機・給湯器役立ち事例

### 暖房機

- ◆ 石油ストーブは停電でも使え、煮炊き(※)、湯沸し(※)ができたので重宝した。風呂が使えなくとも沸かしたお湯で体を拭くなどできたし、湯たんぽで布団を温められた。子どもがいるのでとても良かった。
- ◆ 石油ストーブは調理器具としても明かりとしても役立ちました。古いものを捨てずに取っておいて本当によかったです。

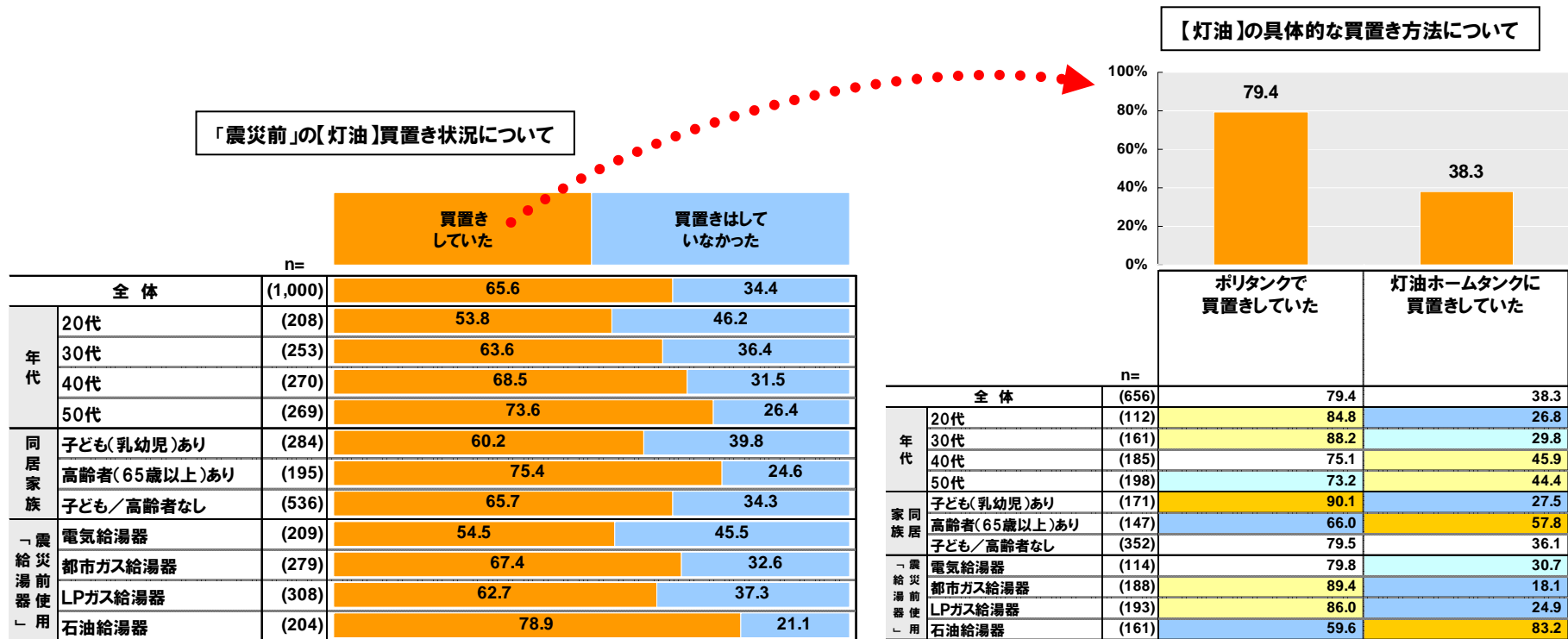
(※)通常時石油ストーブを調理器具として使用することはおすすめできません。

### 給湯器

- ◆ 震災直後には水道の利用が可能だったのですが、翌日には水道が使えなくなり、シャワーが使えない状態でした。しかし、給湯器があることによっておふろの残り湯を毎日沸かし、体を洗うことに少しずつ利用できたので役立ちました。
- ◆ 水が出る、お湯が出るということのありがたみがよく分かった。お風呂も入れたので、震災で避難してきた親戚や知人にお風呂に入ってもらうことも出来た。

## 6.震災前の「灯油」買置き状況

- ◆ 「灯油」の買置き状況をみると、「買置きしていた」は66%となっている。  
震災前使用「給湯器」別での石油給湯器使用者に「買置きしていた」割合が顕著。
- ◆ 買置き方法については、「ポリタンクで買置きしていた」が79%と高く、「灯油ホームタンクに買置きしていた」が38%。同居家族別に見ると、子どもあり層で「ポリタンク」、高齢者あり層で「灯油ホームタンク」がそれぞれ高い。





## 7.震災前「灯油」買置きの役立ち度

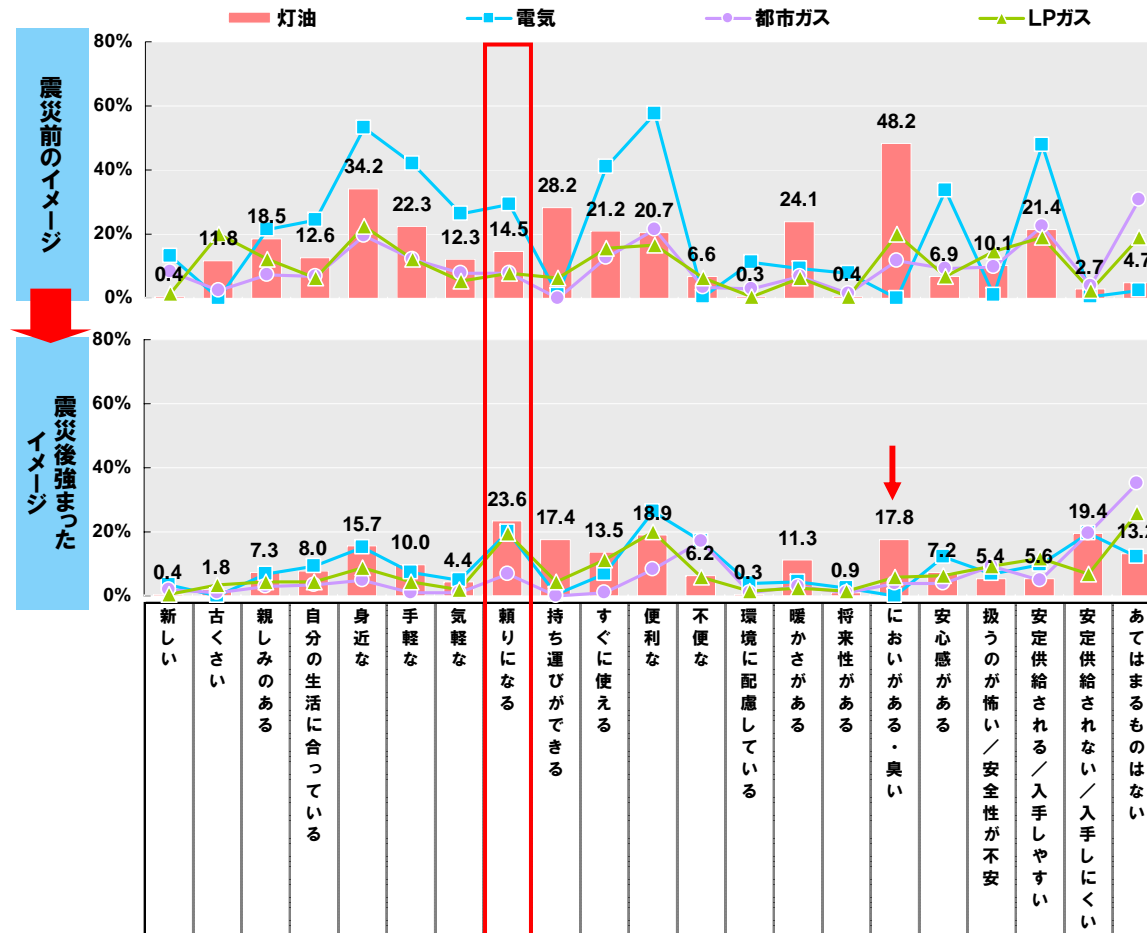
- ◆震災時の「灯油」役立ち度をみると、「**非常に役立った**」72%、「やや役立った」15%と、「**役立った**」は計87%となっている。
- ◆同居家族別をみると、高齢者あり層では97%が「役に立った」と評価している。
- ◆震災前使用「給湯器」別をみると、石油給湯器使用者では「非常に役立った」で85%、「役立った」計で94%と顕著。

震災時に〔灯油〕買置きは、どの程度役立ちましたか

		n=	非常に役立った	やや役立った	どちらともいえない	あまり役立たなかった	まったく役立たなかった	役立ったTOP2
全体		(656)	72.0	15.1	4.7	4.6	3.7	87.0
年代	20代	(112)	59.8	21.4	5.4	8.9	4.5	81.3
	30代	(161)	70.2	15.5	3.7	6.8	3.7	85.7
	40代	(185)	78.4	10.3	5.9	2.2	3.2	88.6
	50代	(198)	74.2	15.7	4.0	2.5	3.5	89.9
同居家族	子ども(乳幼児)あり	(171)	67.8	18.7	3.5	6.4	3.5	86.5
	高齢者(65歳以上)あり	(147)	86.4	10.9	2.0			97.3
	子ども/高齢者なし	(352)	69.9	13.9	7.1	4.8	4.3	83.8
震災前給湯器使用	電気給湯器	(114)	77.2	11.4	5.3	5.3		88.6
	都市ガス給湯器	(188)	64.4	18.6	6.4	5.3	5.3	83.0
	LPガス給湯器	(193)	65.3	19.2	5.2	7.3	3.1	84.5
	石油給湯器	(161)	85.1	8.7	1.9	3.1	1.2	93.8

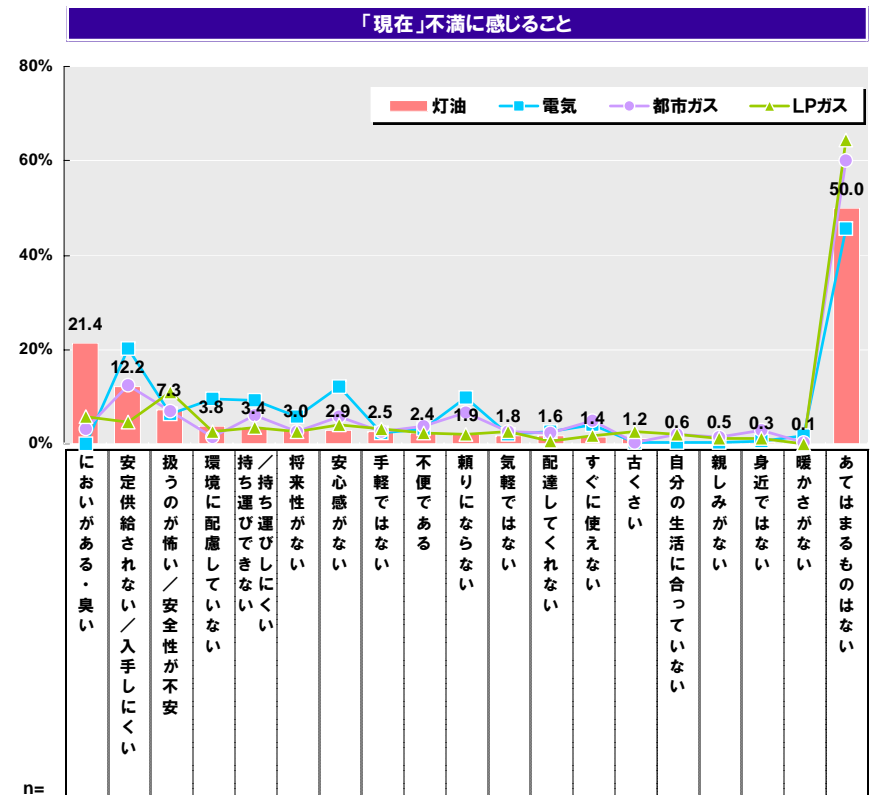
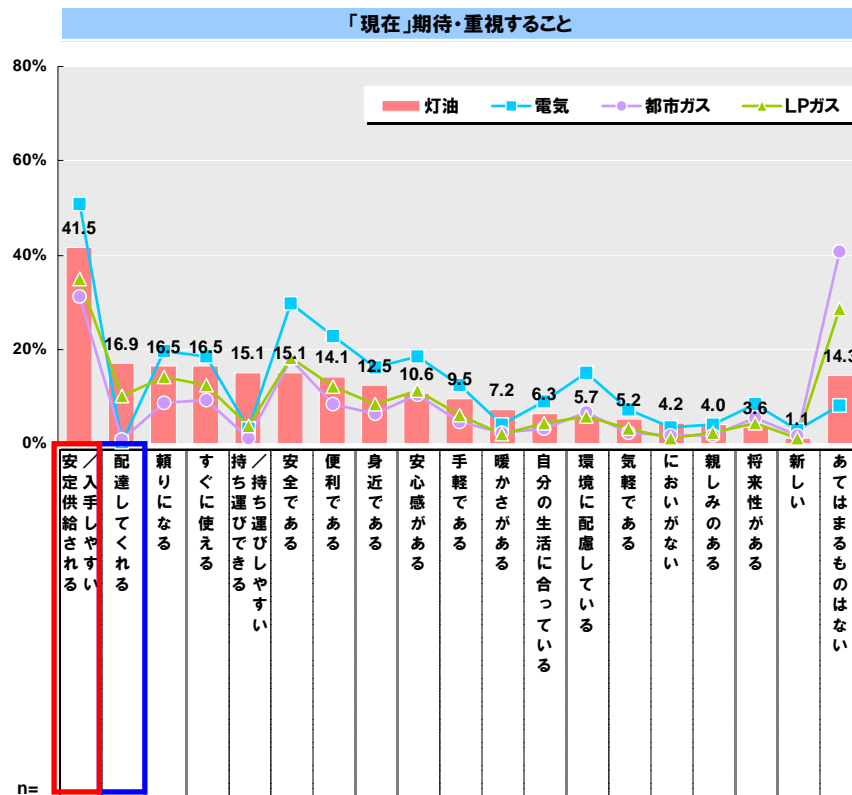
## 8.震災前後の「灯油」イメージ推移

「頼りになる」が震災前後で大きく上昇。  
弱みである「におい」は、大幅ダウンとなっている。



# 9.今、「灯油」に期待・重視する点と不満点

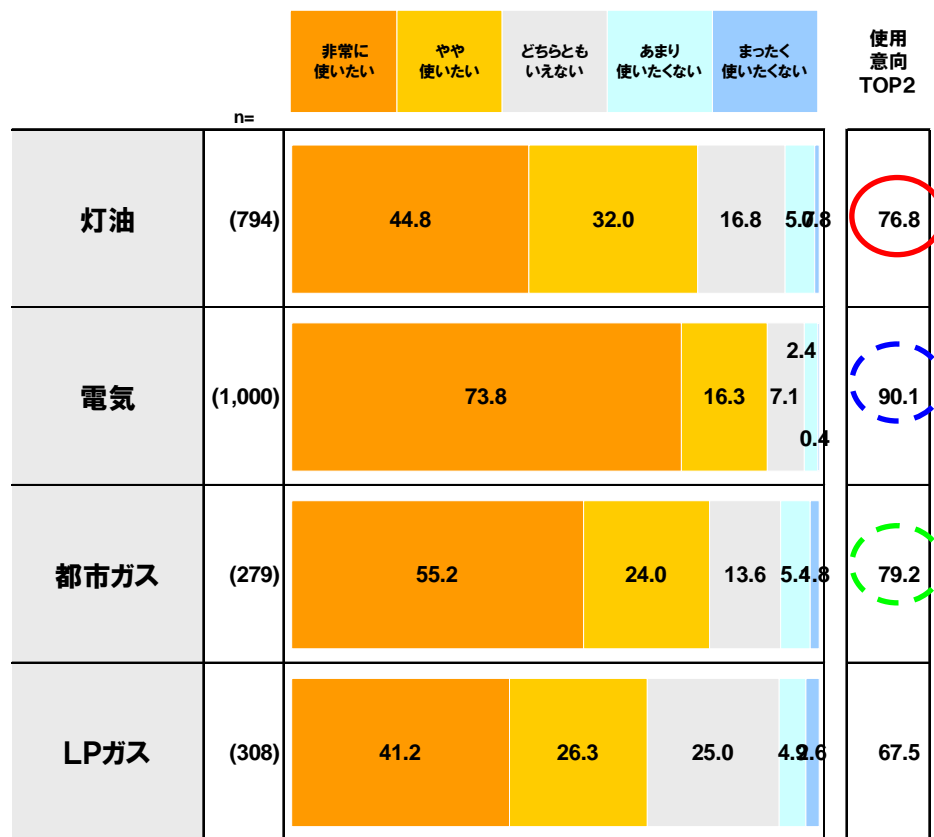
灯油には「**安定供給・入手しやすさ**」，「**配達してくれる**」が期待・重視されている。



# 10.各エネルギーを使用したい気持ちの変化

◆現時点で使用したいエネルギーは「電気」がトップ。「都市ガス」「灯油」はほぼ同じ。

震災後の各エネルギーの使用意志



(%)【基数:震災前使用者】

# 11.暖房機・給湯器を使用したい気持ちの変化

- ・使用したい気持ちが「強まった」暖房機のトップは石油ストーブ(電気不要)。
- ・給湯器はエネルギー間での差異は少なかった。

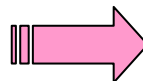
震災前と比較し各暖房機・給湯器を使用したい気持ちの変化

	n=	「震災前」と 比べ使用意向 が強まった	変わらない	「震災前」と 比べ使用意向 が弱まった
給湯器	(1,000)	12.5	80.4	7.1
エアコン	(1,000)	7.0	74.9	18.1
石油ファンヒーター 石油ストーブ	(1,000)	6.7	79.6	13.7
石油ストーブ (電気が不要なタイプ)	(1,000)	34.1	59.1	6.8
電気ストーブ	(1,000)	4.6	76.6	18.8
ガスストーブ	(1,000)	3.1	78.5	18.4

【給湯器】 (%)【基数:対象者全員】

電気給湯器	(209)	16.3	78.9	4.8
都市ガス給湯器	(279)	12.5	82.1	5.4
LPガス給湯器	(308)	10.4	79.2	10.4
石油給湯器	(204)	11.8	81.4	6.9

(%)【基数:対象者全員】



震災後現在の各暖房機・給湯器の使用意志

	n=	非常に 使いたい	やや 使いたい	どちらとも いえない	あまり 使いたくない	まったく 使いたくない	使用 意向 TOP2
給湯器	(1,000)	56.4	25.8	15.8	1.4	0.6	82.2
エアコン	(1,000)	20.1	31.0	27.4	14.2	7.3	51.1
石油ファンヒーター 石油ストーブ	(1,000)	21.1	30.2	29.2	11.5	8.0	51.3
石油ストーブ (電気が不要なタイプ)	(1,000)	28.7	31.1	23.1	8.4	8.7	59.8
電気ストーブ	(1,000)	9.5	16.4	34.2	19.3	20.6	25.9
ガスストーブ	(1,000)	6.9	34.5	22.2	34.6		8.7

【給湯器】 (%)【基数:対象者全員】

電気給湯器	(209)	67.0	18.2	12.4	1.9	0.5	85.2
都市ガス給湯器	(279)	52.0	31.5	15.1	1.7	0.7	83.5
LPガス給湯器	(308)	50.0	28.6	18.8	1.9	0.6	78.6
石油給湯器	(204)	61.3	21.6	15.7	1.0	0.5	82.8

(%)【基数:対象者全員】